

新型インフルエンザ・感染症など予防接種 23区で助成事業が拡大…荒川区の課題は

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

367

2009年11月29日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山区議」で検索して下さい。

23区の新型インフルエンザワクチン接種助成		
区名	助成対象	助成額
荒川	優先接種対象者の全員	初回2600円、2回目1500円
千代田	区独自の助成は未定	
中央	優先接種対象者の全員	全額
港	優先接種対象者の全員	全額
新宿	75歳以上の高齢者	全額
文京	優先接種対象者の全員	1回ごとに1500円
台東	優先接種対象者の全員	1回ごとに1500円
墨田	優先接種対象者の全員	初回2100円、2回目1050円
江東	優先接種対象者の全員	妊婦、基礎疾患患者、1才～小学3年生、1才未満児の保護者は初回2600円、2回目1550円。その他は、初回1600円、2回目550円
品川	優先接種対象者の全員	1回ごとに1500円
目黒	優先接種対象者の全員	初回2100円、2回目1050円
大田	優先接種対象者の全員	1回ごとに1500円
世田谷	助成内容を検討中	
渋谷	優先接種対象者の全員	1回ごとに2000円
中野	妊婦、1才～小学6年生	初回のみ2000円
杉並	妊婦、1才～小学3年生、基礎疾患の患者、1才未満児の保護者	1回ごとに1500円
豊島	妊婦、1才～高校3年生、基礎疾患の患者、1才未満児の保護者	1回ごとに1500円
北	妊婦、1才～中校3年生、1才未満児の保護者	全額
板橋	区独自の助成は未定	
練馬	区独自の助成は未定	
足立	優先接種対象者の全員	1回ごとに1500円
葛飾	優先接種対象者の全員	初回2100円、2回目1050円
江戸川	1才～中学3年生、1才未満児の保護者	初回2100円、2回目1050円

(2009年11月13日現在)

新型インフルエンザワクチン接種について荒川区は、優先接種対象者全員への費用の一部助成をはじめとしています。23区をみると全額のところやまだ決めていないところもあります(左表参照)。同時に、各地でワクチンの不足も言われています。国として早急な対策が求めら

れます。全額助成の区では、子どもたちへの集団接種を行った例も。他区の医療機関で接種した場合の手続きが面倒との声もあり、実態に即した改善が必要です。また肺炎球菌は、高い頻度で高齢者の肺炎の原因になり、肺炎球菌ワクチンの接種助成をはじめしている区

ワクチン不足への対応と助成制度の改善を…肺炎球菌ワクチン接種への助成も創設すべきです

もありません。また子どもの場合、肺炎球菌感染で肺炎、重篤な中耳炎、敗血症にかかっています。すでに安全性の確認された小児用肺炎球菌ワクチンの接種への助成も検討すべきです。



肺炎球菌ワクチン接種の高齢者助成

千代田区	65歳以上・自己負担4千円
墨田区	65歳以上・4千円助成
目黒区	65歳以上及び心臓腎臓呼吸器に障害のある40歳～64歳・3千円助成(申し込み順1500人まで)
渋谷区	75歳以上(65歳以上74歳は今年度はインフルとの関係で助成)全額助成
中央区	65歳以上・4千円助成
港区	65歳以上・3千円助成
台東区	65歳以上・4千円助成
江東区	65歳以上・半額助成
豊島区	心臓腎臓呼吸器に障害のある75歳以上・自己負担4千円

裏面 区政情報など

定例法律相談

12月7日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

【定例生活相談会】
毎週水曜日 午後2時から5時
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

まちな話 あれこれ
いつまで続く「歩行、路上喫煙」禁止の啓発！
啓発指導員さんが「ポイ捨てたばこ」を拾っていますか？

前にも書きました。区内全域での歩行喫煙禁止、町屋駅前周辺での路上喫煙禁止が決まったことを。しかし、未だに歩行喫煙も路上喫煙も改まらないのが現実です。早朝宣伝の際、区の啓発指導員さんと話をする機会があります。ラジカセで「歩行喫煙禁止」を流したり、ポイ捨てたばこを回収したり、

横山幸次



一杯になった「ポイ捨てたばこ」の吸い殻……



荒川区の産業振興の道は… ものづくり再生と都市型産業の創出



工場の跡地が次々マンションに…

みなさんのご意見をお寄せ下さい!

化も必要です。



先日朝の報道番組「スパモ二景気調査隊が行く 下町の中小企業の現場」で、荒川区内の細瀬電球、マツダ自転車工場、日興エポナイト製造所3企業が紹介されていました。いずれも多品種、少量生産、手作りなど中小企業でなければできない高付加価値の製品を作っています。電球にしても多くのメーカーが大量生産にシフトする中で、熟練の職人が用途に合わせて一つ一つ作り上げる製品の中にこれからの産業のヒントが隠されているような気がします。また大量生産、大量消費に合わせた私たちのこれまでのライフスタイルも見直す時期に来ている気がします。

荒川区のものづくりの再生は、同時にこれまでの産業集積、人材、知識を生かした荒川らしい都市型産業創出の努力にかかっています。そのためには、高度な技術、技能の継承と「下請け加工」でなく高付加価値の製品開発につながるための区の支援やネットワーキングづくりなど区の支援強化も必要です。

**TVでも紹介…区内に中小企業の高度な技術力
今後の自社製品開発や高度付加価値など課題**

第4回定例会日本共産党代表質問要旨 くらしと営業を守る緊急対策を…

1、「地方分権改革」に対する区の見解を問う

(1) 介護、障害者福祉、保育、生活保護などの国基準の緩和・廃止に反対し、社会保障の国の責務と財源確保を自治体として求めるべきと考えるがどうか。

(2) 特に保育所の最低基準の緩和、市場化を止めるように働きかけること。

2、失業者・家族をホームレスにしない緊急対策について

(1) 失業者の職業訓練と生活保障を行う支援策を国に求めること。特に失業給付を半年以上に延長や雇用調整助成金の期間延長・給付引き上げなど改善を求めるとともに区として可能な支援策を検討すること。

(2) 政府の失業者の住宅費助成制度の内容と支給期間など改善を求めること。

(3) 年末を控えて、区の仕事生活サポートデスクなど総合相談窓口の強化と充実を行うこと。うつ相談・対策などにつなげられるような専門員を配置してはどうか。

3、暮らしと雇用、営業を守る対策について

(1) 高齢者家賃助成制度の対象年齢の引き下げや支給内容の改善すること。

(2) ふろわり200の月回数の増や風呂の日・26日などに無料デーを実施してはどうか

(3) 小規模工事を地元業者に発注する仕組みづくりを再検討すること。また、シルバー人材センターの区発注を思い切って増やすこと。



(4) 区として地元製造業など長年の経営努力に応える金融機関の融資努力を求めること。

(5) 住宅ローンボーナス支払いなどの緊急支援に緊急小口資金の活用を図ってはどうか。

4、生活困窮への緊急対策について

(1) 子どもの貧困と合わせて要保護状態の区民の実態把握を行い、多様な支援策について検討すること。

(2) 若年者や就労可能を理由に生活保護を要しないと判断するのでなく、適切な申請受理と適用を行うこと。

(3) 生活保護受給に当たって無料低額宿泊所の利用をすすめる理由を問う。

5、保育園のゆきとどいた基準と増設について

(1) 保育園の増設計画を緊急に策定し、定員の弾力化で保育定数を引き上げたところは順次元に戻すこと。

(2) 当面、新築園とあわせて現在の南千住保育園園舎も活用してはどうか。

(3) 未来をつくるこどもたちにゆきとどいた施設内容とする設計理念を確立し、専門家や関係者の意見を良く聞くこと。



6、新型インフルエンザへの積極的な対応と高齢者・小児に対する肺炎球菌ワクチン接種への助成制度を行うこと

7、区の平和事業の充実について

(1) 平和市長会議への参加について問う。また、戦後65年、荒川区平和都市宣言15周年にふさわしい取り組みを求める。

